

SOHO 21  
THE BIRTH OF NEO J-CLASSIC CREATORS

7  
1  
8  
20602

創邦21 第1回作品演奏会

# 邦楽新世代作家たちの誕生。

当代一流の邦楽演奏家たちによる創造集団「創邦21」  
文化芸術の多様化・国際化、メディアとテクノロジーの進化、コミュニケーションの変容……。新世紀の到来を見据え、日本音楽の新世代を切り拓く注目の活動がスタートします。

邦楽の新たな可能性が産まれるその瞬間を、どうぞお見逃しなく!!

PROGRAMMERS FOR PRESENTATIONS OF NEW COMPOSITIONS OF HOGAKU ( NATIONAL MUSIC OF JAPAN )

平成12年5月16日(火)

午後6時開演(午後5時30分開場)、午後9時終演予定

会場 日本橋劇場(中央区立日本橋公会堂) ※中央区日本橋蛸殻町1-31-1

最寄駅 営団半蔵門線「水天宮前」駅下車2分  
営団日比谷線「人形町」駅下車5分

入場料 3,500円(全自由席)

お申込 創邦21 演奏会事務局 ☎ 03-3536-1361  
チケットぴあ ☎ 03-5237-9990

主催 創邦21: そうほうにじゅういち

助成 (財)新日鐵文化財団

## 創邦21 会員

|   |   |   |       |   |
|---|---|---|-------|---|
| 今 | 藤 | 長 | 龍     | 郎 |
| 今 | 藤 | 政 | 貴     |   |
| 今 | 藤 | 政 | 太     | 郎 |
| 今 | 藤 | 美 | 治     | 郎 |
| 杵 | 屋 | 巳 | 吉     |   |
| 杵 | 屋 | 巳 | 太     | 郎 |
| 清 | 元 | 栄 | 吉     |   |
| 常 | 磐 | 津 | 文     | 字 |
| 福 | 原 |   | 兵     | 衛 |
| 松 | 永 | 忠 | 一     | 郎 |
| 米 | 川 | 裕 | 枝     |   |
| 和 | 歌 | 山 | 富     | 之 |
| 金 | 子 |   | 泰     |   |
|   |   |   | (文芸部) |   |
| 静 | 友 | 己 | 枝     |   |
|   |   |   | (文芸部) |   |

## ごあいさつ

西洋音楽系作曲家に委ねられつつある「現代邦楽」の昨今ですが、先人が創意工夫を重ねてきた「書法」を踏まえた、真に新しい「邦楽」作品の開拓は、私たち邦楽演奏家に課せられた大きな責務です。

かつて三世今藤長十郎氏、四世藤舎呂船氏、四世清元梅吉氏、四世常磐津文字兵衛氏らの呼びかけによる「創作邦楽研究会」は、昭和30年代から約10年にわたる有意義な活動を行い、「創作邦楽」と呼ばれる多くの優れた作品を世に送り出しました。活動休止から早四半世紀が経過しましたが、その「創作邦楽研究会」経験者の今藤政太郎、杵屋巳太郎の呼びかけにより、私たち「創邦21」は、平成9年1月に発足いたしました。目指すものは「創作邦楽研究会」の再興、そして《邦楽演奏家による新作発表の理想の形》を再現することです。

発足以来3年間、研究会・試演会を重ねてまいりましたが、このたびは満を持して初の本公演と相成ります。ご支援のほどをなにとぞよろしくお願い申し上げます。

## プログラム

### 1「梅に寄す」

作詞：金子泰 作曲：今藤美治郎 作調：梅屋雅一

### 2「羅宇の夕景」

作曲：和歌山富之

### 3「祇園囃子」

作詞：静友己枝 作曲：杵屋巳吉

### 4「萌ゆ」

作曲：米川裕枝

### 5「梅若涙雨」

作詞：金子泰 作曲：松永忠一郎 作調：藤舎呂英

### 6「歌舞伎方変奏組曲 カブキ21」

作曲：杵屋巳太郎 作調：望月長左久

### 7「真景累ヶ淵～宗悦殺しの段～」

原作：三遊亭円朝 構成・作曲：常磐津文字兵衛

### 8「三味線四重奏 波のざわめき」

作曲：今藤長龍郎

### 9「小品歌曲集 愛の唄 三題」

出典：閑吟集ほか 作曲：今藤政太郎

### 10「東京能管」

作曲：福原徹

### 11「はつ恋」

作詞：金子泰 作曲：清元栄吉

## 協演者

今藤長一郎 今藤政子 今藤政十郎 梅屋雅一 岡崎敏優 杵屋栄八郎 杵屋秀子  
杵屋巳津也 杵屋巳之助 清元清栄太夫 大学敏悠 藤舎呂英 常磐津兼太夫  
常磐津文紫郎 中川敏裕 樋口麻理子 福原寛 福原百七 望月長左久 望月正浩 (50音順)

## お問合せ・お申込み

創邦21演奏会事務局 TEL/FAX 03-3536-1361

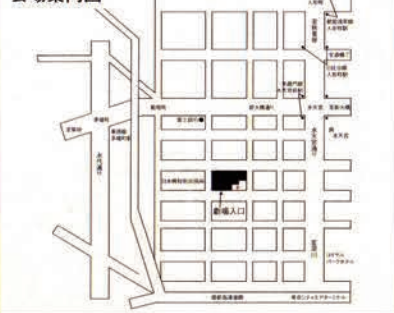
## 日本橋劇場

お客様用の駐車場はございませんので、お車でのご来場は、ご遠慮ください。

中央区日本橋蛸屋町1-31-1

交通 営団地下鉄 半蔵門線「水天宮前」駅 6番出口から徒歩2分  
日比谷線「人形町」駅 A2出口から徒歩5分  
東西線「茅場町」駅 4-a出口から徒歩10分  
都営地下鉄 浅草線「人形町」駅 A3出口から徒歩7分

## 会場案内図



## 創邦21同人会員プロフィール



今藤長龍郎

1969年生まれ。父は今藤尚之。80年初舞台。85年今藤綾子師より今藤長龍郎の名を許される。91年東京芸術大学音楽学部を卒業。以後、国立劇場、歌舞伎座、NHK、文化庁移動劇場などに出演。父・今藤尚之師のほか、伯父・藤舎呂船氏、伯父・中川善雄師に師事。また萩江節も習得、萩江露半の名を許されている。



今藤政太郎

1935年生まれ。父は四世藤舎呂船、母は藤舎せい子。16歳より十世芳村伊四郎師に師事。60年東京芸術大学音楽学部卒業。今藤政太郎を襲名。以降、演奏活動の他、映画音楽を含む作曲活動を展開、受賞多数。国立音楽大学、国立劇場養成課、NHK邦楽技能者育成会講師。



金子泰

1968年生まれ。東京大学文学部卒業。今藤政太郎門下で長唄を修行。新作邦楽の作詞活動の他、新作舞踊本など歌舞伎作品の執筆も手掛ける気鋭の作家。歌舞伎脚本の研究も行う。「創邦21」初の芝居師。今回の第1回演奏会では3曲を発表。今藤美治郎氏、松永忠一郎氏、清元栄吉氏がそれぞれ曲をつけている。



杵屋巳太郎

1937年生まれ。父・六世巳太郎、十四世杵屋六左衛門師に師事。のち三世今藤長十郎師・綾子師に師事。56年七代目家元杵屋巳太郎を襲名。60年NHK邦楽技能者育成会4期修了。以降、演奏・作曲両面で活躍、受賞多数。71年第五回劇団音楽部員加入。89年より同代表部長。また、国立劇場養成課講師。



静友己枝

早稲田大学教育学部卒業。杵屋巳太郎門下で長唄を修行。1994年「第13回佐田門創作の会」で作詞家デビュー。96年「世界の博覧会」に出品した「梅説・黒髪山の太蛇(おろち)退治」は同年度エキスポ大賞を受賞。これまでに18曲を「佐田門創作の会」「東京創作会」などで発表。杵屋巳吉氏とは今回が2曲目の共作となる。



福原徹

1961年生まれ。四世寶山左衛門師に師事。83年福原徹の名を許される。84年東京芸術大学音楽学部卒業後、邦楽囃子方として活動。古典曲から現代邦楽まで意欲的に取り組み、作曲活動や新しい形の演奏会企画構成等も手掛ける。NHK文化センター講師。97年自作品をまとめたCD「徹」を制作。



米川裕枝

幼少より、母・米川敏子に生田流箏曲、地歌三弦を師事。1973年NHK邦楽技能者育成会第18期修了。作品は乗松明広師に師事。古典・現代邦楽の演奏や作曲など幅広く活動し、95年芸術選奨文部大臣新人賞を始め受賞多数。海外公演も多くオーケストラとも協演。(社)日本三曲協会企画委員など要職も務める。



今藤政貴

1965年生まれ。父は今藤政太郎。四世藤舎呂船は祖父。藤舎せい子は祖母にあたる。68年3歳で初舞台。6歳より長唄囃子の手はときもつけける。81年叔母・今藤美知師に師事。92年武蔵大学大学院修士過程修了。同年、今藤政貴の名を許される。以後、国立劇場、歌舞伎座、NHK、紀尾井ホール公演などに出演。



今藤美治郎

1960年生まれ。父は六世富士田新蔵、母は今藤文子。大叔父・三世今藤長十郎師、祖母・今藤綾子師に師事。82年今藤美治郎の名を許される。83年東京芸術大学音楽学部を卒業。以後、演奏会、舞踊会、歌舞伎、放送などに出演。97年より桐朋学園大学助手。また萩江露朝の名も許されている。



杵屋巳吉

1966年生まれ。幼少より三味線に親しみ、83年杵屋巳太郎に入門。翌84年に杵屋巳吉の名を許され、国学院大学に進退して第五回劇団音楽部員加入。歌舞伎の初舞台を踏む。専従者として出囃子、黒みずのキャリアを積み海外公演も多数。既に舞台師、立三味線を務めるなど歌舞伎音楽の次代を担うホープの一人。



清元栄吉

1963年生まれ。88年東京芸術大学音楽学部作曲科を卒業し、清元栄三郎師に入門。翌89年6月清元栄吉の名を許され、8月の松竹大歌舞伎公演協賛公演で初舞台を踏む。以後、歌舞伎、舞踊公演などに出演。90年10月バ・フランクフルト歌舞伎公演に参加。96年「露のいのち」作曲。98年「こはろき橋」作曲。



常磐津文字兵衛

1961年生まれ。4歳で父・常磐津紫郎に入門し、77年常磐津紫郎、95年五代日常磐津文字兵衛襲名。東京芸術大学音楽学部在学中より演奏・作曲が高く評価され、海外公演を行う。古典、現代音楽、ロックと多彩に手掛け、受賞多数。歌舞伎座からサントリーホール、NYカーネギーホールまで幅広く活躍。



松永忠一郎

1969年生まれ。父は松永鉄十郎、兄は松永忠次郎。72年3歳で九世家元松永鉄五郎師に入門。また松永忠五郎師に師事。初舞台を踏む。88年松永鉄雅舞の名を許され、国立劇場大劇場における市川團十郎公演「連獅子」の出囃子三味線方として歌舞伎初舞台を勤める。93年松永忠一郎と改名。また、地唄も習得。



和歌山富之

1965年生まれ。父・和歌山富之助の手はときで長唄を始める。88年東京芸術大学音楽学部在学中ながら歌舞伎座の出囃子を務める。89年卒業。和歌山富之の名を、また90年東京大橋舞の名を許される。91年第五回劇団音楽部員加入。専従者として出囃子、黒みずを務めている。演奏会、舞踊会、放送等にも出演。